

令和5年度生野鉱山及び鉱山町の文化的景観 講演会

佐渡金山「道遊の割戸」

生野銀山「鉱山本部前を走るトロッコ道」

別子銅山「旧端出場水力発電所」

「金・銀・銅」がつなぐ、 鉱山町の未来



江戸時代から明治にかけて日本の財政を支えた佐渡金山、生野銀山、別子銅山。日本の歴史に輝く「金・銀・銅」鉱山の開発によって育まれた鉱山町の景観、人々の生活文化は、今も脈々と受け継がれ、地域の誇りとなっています。佐渡金山、別子銅山の活用を最前線で進める担当者をお招きし、調査研究や保存整備の取組み、鉱山活用の考え方、先進事例を伺います。

日時

令和6年 2月10日(土)
13:30~15:30 (受付13:00~)

会場

あさご・ささゆりホール

講師

秦野 親史 氏 愛媛県新居浜市 企画部
別子銅山文化遺産課 統括参事

宇佐美 亮 氏 新潟県佐渡市 観光振興部
世界遺産推進課 課長補佐

佐渡金山「相川の町並み」

生野銀山本部「旧混汞所」

別子銅山「第二水車発電機」

主催：朝来市教育委員会 問合せ：朝来市教育委員会文化財課
後援：日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会
TEL：079-670-7330 メールアドレス：bunkazai@city.asago.lg.jp

令和5年度電源立地
地域対策交付金事業